会長		担当理事		会計	

埼医業Ⅰ第 1043 号
令和５年８月２９日

郡市医師会長　殿

埼玉県医師会長　金井　忠男
（担当常任理事　登坂　英明）

令和５年度 埼玉県肝炎医療研修会
「肝疾患の病態と治療」のご案内について

標記の件につきまして、別添のとおり、埼玉県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会より周知依頼がありました。

この「医療従事者向け研修会」は、新規の方、更新の方の両方を兼ねています。

また、同時にコーディネーター養成研修もおこなっております。

つきましては、ご多忙の折、恐縮に存じますが、貴会会員へ周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、同研修会への参加申込方法につきましては、埼玉県庁 HP に案内が掲載されております。

（県 HP ﾄｯﾌﾟﾍﾟｰｼﾞ →健康・福祉→医療→肝炎対策→肝炎に関する研修会について　参照）

事務局：業務課業務Ⅰ担当　石田
ＴＥＬ：０４８－８２４－２６１１

埼玉県医師会 収受 5.9.-1 第532号

令和5年 7月 吉日

各　位

埼玉県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会
委員長　持田　智（埼玉医科大学　消化器内科・肝臓内科　教授）

令和5年度埼玉県肝炎医療研修会
「肝疾患の病態と治療」のご案内

謹啓　盛夏の候、先生におかれましては益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より埼玉県における肝炎対策の推進につきまして、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

埼玉医科大学病院では「埼玉県肝疾患診療連携拠点病院」の事業の一環として例年、県内の医療従事者を対象とした研修会を開催しています。令和5年度は10月8日に埼玉県県民健康センターにおいて「医療従事者向けの研修会」を開催いたします。今年度はwebでの開催は行いません。

同研修会は埼玉県の委託により肝疾患診療連携拠点病院である埼玉医科大学病院が実施するもので、受講者である医師には埼玉県が「受講証明書」を発行致します。県の肝炎治療医療費助成制度である「肝炎治療特別促進事業」については、平成22年4月から保健所に提出する診断書には「日本肝臓学会の専門医であること」ないしは「同研修会の受講番号」の何れかの記載がない診断書は保健所で受理されないこととなっています。すなわち、日本肝臓学会の専門医以外が肝炎治療特別促進事業に参画する際には、同研修会の受講が必須になっています。また、「肝臓機能障害者用身体障害者診断書・意見書」を作成する資格としても、埼玉県では同様の資格が必要になっております。前述の趣旨から研修会の「受講証明書」を発行された方（医師）は、原則として氏名、所属医療機関名・所在地・電話番号を県のホームページで公表いたしますのでご了承ください。なお、同研修会の受講者が「肝炎治療特別促進事業」の診断書を記載できる期間は、研修会を受講した当日から、受講した年の5年後の末日までとなっています。研修1～8は、基本的事項に関する講義、9～14は最新の話題に関する講義となります。新規の方は終日、更新の方は研修5からの受講で「受講証明書」が発行される要件を満たすことになります。

参加費は無料でございます。申込みについては、埼玉県庁HPにご案内いたしますのでご覧ください。（県庁HPトップページ→健康・福祉→医療→肝炎対策→肝炎に関する研修会について）

謹白

埼玉県肝炎炎医療研修会「肝疾患の病態と治療」

共催 ： 埼玉県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会・埼玉県医師会

日時 ： 令和５年 10 月８日（日）9:30～16:30

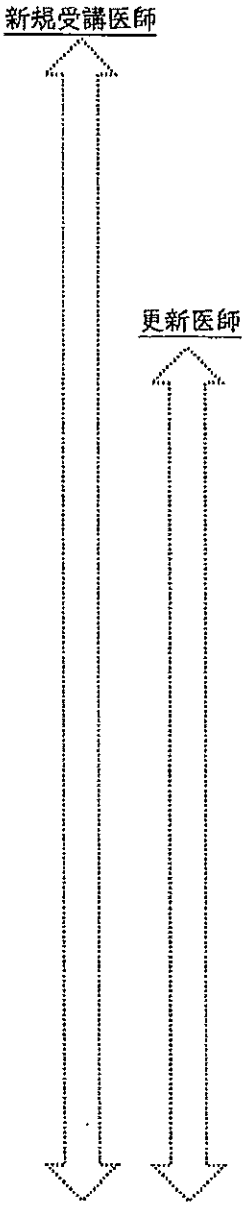
会場 ： 埼玉県県民健康センター 大ホール

【更新】研修5～参加の方は 10:55 頃までにご来場いただき、受付してください。

※途中退出された場合、受講証明書は発行できません。

プログラム

9:30	開会のあいさつ	持田 智
9:35	研修 1：「肝炎ウイルスと肝疾患の病態」	菅原 通子
9:55	研修 2：「肝炎ウイルスマーカーの読み方」	中山 伸朗
10:15	研修 3：「肝機能検査値の読み方」	菅原 通子
10:35	研修 4：「肝臓の画像診断」	菅原 通子
<休憩 10 分>		
11:05	研修 5：「B 型肝炎の抗ウイルス療法」	内田 義人
11:25	研修 6：「B 型肝炎の再活性化とその対策」	中尾 将光
11:45	研修 7：「C 型肝炎の抗ウイルス療法」	内田 義人
12:05	研修 8：「NAFLD、NASH」	富谷 智明
<昼食休憩・情報提供>		
13:00	研修 9：「急性肝炎、急性肝不全」	中山 伸朗
13:20	研修 10：「自己免疫性肝疾患」	富谷 智明
13:40	研修 11：「門脈圧亢進症」	今井 幸紀
14:00	研修 12：「慢性肝不全の治療：腹水、肝性脳症、栄養療法」	富谷 智明
<休憩 10 分>		
14:30	研修 13：「肝癌の診断と治療ガイドライン」	今井 幸紀
14:55	研修 14：「肝癌の IVR 治療と分子標的薬」	今井 幸紀
<休憩 10 分>		
15:30	特別講演：「B 型・C 型肝炎の最新の話題、医療制度について」	
	埼玉医科大学 肝臓・消化器内科 教授 持田 智先生	
16:30	閉会のあいさつ	持田 智



【問い合わせ先】

埼玉県肝臓病相談センター（埼玉医科大学病院内）

E-mail：kanzo@1972.saitama-med.ac.jp

令和５年７月 吉日

各　位

埼玉県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会
委員長　持田　智（埼玉医科大学　消化器内科・肝臓内科　教授）

令和５年度埼玉県肝炎医療コーディネーター養成研修会のご案内

平素より埼玉県における肝炎対策の推進につきまして、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。埼玉県では「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」に基づき、平成25年度から、肝炎患者の支援を目的として、「埼玉県肝炎コーディネーター」を養成してきました。平成30年度からは、活動場所に応じて「埼玉県肝炎医療コーディネーター」と「埼玉県肝炎地域コーディネーター」の2種類を設けています。

埼玉医科大学病院では、県の委託を受けて、例年、肝炎医療コーディネーターの養成講座を実施しています。令和５年度は10月８日に埼玉県民健康センターにおいて「埼玉県肝炎医療コーディネーター養成研修会」を開催いたします。

肝炎医療コーディネーターの主な活動内容としては、医療機関における肝臓病教室の開催、治療に関する助言、行政機関が実施する助成制度の案内等が挙げられます。専門的な知識を持ったコーディネーターの養成を行うことで、肝炎対策の促進につながる大きな役割を担っていただけるものと考えています。特に、県の肝疾患診療に関する地区拠点病院に勤務する医療従事者については、それぞれの圏域内の他の病院に対して肝臓病教室の実施を支援していただくことになり、より多くの方に肝炎に対する正確な知識を伝えることが期待されます。

肝炎地域コーディネーターの養成講座は別途設けておりますが、肝炎地域コーディネーターは、民間企業等で労働者の健康管理を行う職員、県や市町村の肝炎事業に携わる職員、患者会会員等と対象としたものであり、医療機関に所属する皆様方におかれましては、原則として「肝炎医療コーディネーター」の養成研修会に御参加ください。

肝炎医療コーディネーター養成研修会に参加を希望される方は埼玉県庁 HP（ﾄｯﾌﾟﾍﾟｰｼﾞ→健康・福祉→医療→肝炎対策→肝炎に関する研修会について）のご案内をご覧ください。なお、この養成研修は医師を対象として開催する「肝炎医療研修会」のプログラムの一部を指定して受講していただくものです。

謹白

埼玉県肝炎炎医療研修会「肝疾患の病態と治療」

共催 ： 埼玉県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会・埼玉県医師会

日時 ： 令和５年 10 月８日（日） 9:30～16:30

会場 ： 埼玉県県民健康センター 大ホール 等

※修了証書は試験合格者に後日郵送させていただきます。

プログラム

大ホール

9:30	開会のあいさつ	持田 智
9:35	研修 1: 「肝炎ウイルスと肝疾患の病態」	菅原 通子
9:55	研修 2: 「肝炎ウイルスマーカーの読み方」	中山 伸朗
10:15	研修 3: 「肝機能検査値の読み方」	菅原 通子
10:35	研修 4: 「肝臓の画像診断」	菅原 通子
<休憩 10 分>		
11:05	研修 5: 「B 型肝炎の抗ウイルス療法」	内田 義人
11:25	研修 6: 「B 型肝炎の再活性化とその対策」	中尾 将光
11:45	研修 7: 「C 型肝炎の抗ウイルス療法」	内田 義人
12:05	研修 8: 「NAFLD、NASH」	富谷 智明

<昼食休憩・情報提供> ※昼食はこの時間にお召し上がりいただけます。

<会場移動> 1F 大会議室 C へ移動

大会議室 C

13:30	「埼玉県の肝炎助成制度について」	埼玉県疾病対策課
14:00	「ビデオ上映」	
<休憩 10 分>		
14:55	「肝炎医療コーディネーター試験(30 分)」	

<会場移動> 2F 大ホールへ移動

大ホール

15:30 特別講演：「B 型・C 型肝炎の最新の話題、医療制度について」

埼玉医科大学 肝臓・消化器内科 教授 持田 智先生

16:30 閉会のあいさつ 持田 智

【問い合わせ先】

埼玉県肝臓病相談センター(埼玉医科大学病院内)

E-mail：kanzo@1972.saitama-med.ac.jp